

# 令和5年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立金曾木小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

|    |   |
|----|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字まとめテストの到達率は約7割であり、漢字の読み書きを正しく行うこと。</li> <li>説明文を正しく読み取ること。初読の文章は、内容理解が難しい児童がいる。</li> <li>自分の考えを文章で表すこと。</li> </ul> |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>知識を地図やグラフと関連付けて考えたり、表現したりすること。</li> </ul>  |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を正しく捉え、解決すること。</li> <li>既習事項を活用して、問題を解決したり、自分の考えを表現したりすること。</li> </ul>   |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストの思考・判断・表現における到達率は約7割であり、問題を正しく捉え、解決すること。</li> <li>観察や実験は意欲的に取り組むことができるが、自然の事物や現象の差異点に着目して問題を解決すること。</li> </ul>  |

## 2 各教科の具体的な授業改善

|    | 特に育成を目指す資質・能力   | 資質・能力を育む<br>指導方法・指導体制の工夫  |
|----|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく読んだり、書いたりする力。</li> <li>段落ごとに内容を押さえながら、読む力。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字小テストを活用し、間違えた漢字を中心に反復練習をする。</li> <li>語彙を増やすために、国語辞典を使う機会を増やす。</li> <li>説明文や物語文では、中心となる語や文を見つけて、段落ごとに整理しながら考える活動を設定する。</li> </ul>         |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を取り出し、その情報を基に適切に調べ、まとめる力。</li> <li>調べたことや考えたことを表現しようとする態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>比較、関連させながら、必要な情報を取り出すために、複数の資料を用意する。</li> <li>課題を解決するために、図書館や1人1台端末を活用させる。</li> <li>解決した課題を表現する方法（新聞、リーフレット、ポスター等）を提示する。</li> </ul>        |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題の場面を考えて式をたて、答えを求める力。</li> <li>数量や図形に進んで関わり、学習や生活に活用しようとする態度。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>計算ドリルを活用して、授業や家庭学習で繰り返し練習させる。</li> <li>立式するまでの過程を、図や言葉で説明したり、話し合ったりする機会を設定する。</li> <li>習熟度別に課題を精選し、学力向上推進ティーチャーと連携し、個に応じた指導を行う。</li> </ul> |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象について主体的に問題を解決しようとする態度。</li> <li>自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見だし、解決する力。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童がより身近な問題として捉えられるよう、理科支援員と連携を図り観察、実験の事前準備を行い、児童の興味・関心を高める。</li> <li>理科の学習の流れを定着させ、自然の事物・現象から考え、話し合う時間を設定する。</li> </ul>                    |